

①IT 基礎講座(必須)(第 1 quarter～第 2 quarter)

IT 技術・IT 活用産業は日々進化を遂げており、その裾野はたんに企業活動、社会・経済のみならず一般の生活者のレベルにおいても不可欠な要素となるまでに拡大している。要するに、IT はあらゆる社会・経済・文化シーンにおいて決定的に重要な存在となっている。したがって、どのような職業・職務を選択する場合であっても、IT に関わる基礎技術・スキル・知識を習得し実践することが不可避となっている。

この講座では、IT 技術革新の歴史、IT 関連商品・サービスの展開、IT 化による社会の構造的変化、新規産業創出、市場の動態的变化、生活様式の変化等について基礎的な知識を習得する。世界で通用するビジネスマンにとって、どのようなビジネス課題ではあっても高度な IT 知識・経験・実践力が必要であることは言を待たない。将来的動向予測を含めて、最新の IT 知識を具備し、それを日々のビジネスに活かせる応用力を培養することの必要性は夙に高い。したがって、この講座では平板な教科書的知識をスコラ的に学ぶのではなく、IT の未来的可能性を模索するという観点を軸として、応用性の高い学習方式を採用する。

受講者には定期的に課題を提起し、課題に答えるために必要な知識・情報を自ら収集・分析・応用してもらう。受講者には、事前に、そして随時必要な情報を提供するが、それらは必ずしも十全なものではないから、受講者の主体的な学習が不可欠となるし、自ら考えるという姿勢が強く求められる。

期間	6 ヶ月
密度	1 週に 1 回、課題
場所	自己学習、メールで課題送付
義務	課題への解答、自己学習
評価	自己採点→評価→課題提案→再提出

②最新 IT 技術・用語講座(必須)(第 1 quarter～第 3 quarter)

最新の IT 用語に関してその応用例を含めて理解する基礎的な講座。用語を丸暗記するのではなく、それがどのような目的で、どのように活用されているのかを含め、使える生きた知識として習得する。

この講座でも英語ベースでの知識拡張を指向する。もともと IT 用語の多くは英語表現のものが多く、その意味・概念・応用例等についても英語で理解する。また、一部の用語集については音声ファイルも添付し、正しい発音での理解を深める。

各種 IT 用語集を PDF 形式で配賦して自己学習を進めてもらうが、一定期間経過後に面談ないしは Skype / Yahoo Messenger 等の手段で学習達成度をテストする。テストの結果によって学習計画を再構築するとともに、原因探求による弱点克服にも努める。自己学習は、自己統制力の如何によるが、外部圧力の受容性によっても成果の水準が異なってくる。こうした自己学習機会の提供は、自律的な目標達成意欲の醸成にも貢献すると思われる。

期間	6 ヶ月
密度	1 週に 1 回、課題
場所	自己学習、メールで課題送付
義務	課題への解答、自己学習
評価	自己採点→評価→課題提案→再提出

③HP 作成講座(必須) (第 3 quarter)

HuSEEC の HP 内に「自己紹介ページ」を設け、講座参加者は付与されたサブ・ページを HP として自由に設計し、ビューアー数やトラックバック数を競い合う。HP 作成ツールを利用した作成でもよいが、できれば PHP 等の開発言語を利用した作成にチャレンジしてもらいたいと考えている。コンテンツ容量には制約があるが、知的所有権を侵害しない限り、自由に自己 PR の場を設計・作成してもらう。なお、個人情報等については極力秘匿するようガイドラインを設ける。

講座のネライは、HP 作成を通じて IT というクリエイティブな事業分野の一端に接してもらうこと、創造力の養成、訴求力のあるコンテンツ提供のセンスを磨くこと、構造的な思考力の強化、等々の副産物にも期待する。

設計仕様上の制約等については事前にガイダンスを実施するが、開発ツールや素材などを事務局が提供することはない。素材レベルから自ら作成することで、知的所有権の重要性を理解してもらうことも企図している。

期間	開発に 2 ヶ月、以後、トランザクションを繰り返す
密度	更新頻度は 1 週間に 1 回以上とする
場所	自宅での作成、メール等での指導
義務	バグのない HP の作成と日常的な更新
評価	ビューアー数、トラックバック数、「いいねクリック」数